

1 集団検診

1 調査目的

がん検診における発見がん患者の精密検査結果の詳細を把握することにより、検診の評価を行い、精度管理の維持・向上を図る。

2 調査対象

令和2年度の出張型住民検診における胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診受診者のうち、精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

3 調査内容

調査内容は、当事業団が実施した胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診における発見がん患者の精密検査結果および治療状況等とし、各がん取り扱い規約に基づいた内容について更なる詳細結果（報告）を求めた。

1] 取得方法

調査依頼先に対象者の発見がん追跡調査票を書留にて郵送し、回収した。

2] 調査依頼先

対象者の精密検査結果報告が提供された医療機関、または紹介先医療機関

3] 調査期間

初回調査：令和3年9月～10月

再調査：令和3年11月～12月

再調査は、以下の場合に実施

- (1) 初回調査の結果、転院が判明した者
- (2) 初回調査後、新たに精密検査結果が「がん」または「がん疑い」と報告のあった者

4 用語の解説

1] 精密検査結果内訳

- (1) 精検受診：医療機関より精検結果の報告があった者。または、要精検者からの報告で精検日・精検法・精検結果・精検医療機関の4項目が揃っている者
- (2) 精検未把握：精検受診の有無が不明な者。または精検を受診していても精検結果が正確に分からない者
- (3) 精検未受診：精検を受診していても不適切な精検が行われた者。または、精検未受診が判明している者

2] 発見がん追跡調査

- (1) 追跡調査対象者数：精密検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者（精検未把握者の者のうちがん又はがん疑いの者を含む）
- (2) 詳細把握：発見がん追跡調査前に、がんと判明しかつその詳細結果を把握できた者
- (3) がん以外：発見がん追跡調査前に、がん以外の疾患であることを把握できた者
- (4) その他：初回調査及び再調査実施後、新たに医療機関よりがん又はがん疑いと精密検査結果の報告を受け、今回の調査期間中に調査を実施出来なかった者やがんと判明しているものの精検医療機関が不明な者等

令和2年度出張型住民検診における発見がん追跡調査結果

令和4年1月31日現在

1 事業団における発見がん調査結果

	胃がん	肺がん		大腸がん	子宮頸がん			乳がん	前立腺がん
		単純X線	ヘリカルCT		細胞診のみ	HPV併用	ASC-US時 HPV追加		
受診者数	33,486	60,830	691	59,362	1,130	5,772	22,294	37,373	21,020
要精検者数	2,861	1,358	21	3,182	43	293	400	1,406	1,849
要精検率(%)	(8.5)	(2.2)	(3.0)	(5.4)	(3.8)	(5.1)	(1.8)	(3.8)	(8.8)
精検受診者数	2,448	1,214	19	2,314	36	259	325	1,303	1,399
精検受診率(%)	(85.6)	(89.4)	(90.5)	(72.7)	(83.7)	(88.4)	(81.3)	(92.7)	(75.7)
追跡調査回収率(%)	(90.9)	(97.7)		(92.0)	(100.0)	(100.0)	(97.1)	(99.2)	(97.2)
発見がん数	34	41	1	85	1	2	5	112	127
がん発見率(%)	(0.10)	(0.07)	(0.14)	(0.14)	(0.09)	(0.03)	(0.02)	(0.30)	(0.60)
早期がん割合*(%)	(75.8)	(61.0)	(100.0)	(55.0)	(100.0)	(100.0)	(60.0)	(82.0)	(85.4)
陽性反応適中度(%)	(1.2)	(3.0)	(4.8)	(2.7)	(2.3)	(0.7)	(1.3)	(8.0)	(6.9)

*早期がん割合は、早期・進行のstageが不明であった者を除いて集計した。子宮頸がんについては、早期がん・進行がんという分類がないためIA期を早期がんに相当して集計した。

2 令和2年度 栃木県におけるがん検診実施状況（栃木県健康診査実施状況調査より）

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん (指針方式)	乳がん (指針外方式)
受診者数	64,008	147,147	141,808	73,739	62,476	6,459
要精検率(%)	7.68	2.17	6.21	2.65	4.28	1.97
精検受診率(%) (令和元年度確定)	84.8	84.5	69.6	88.8	90.9	88.8

3 令和2年度 日本対がん協会全国集計におけるがん検診実施状況（住民）

（日本対がん協会がん検診の実施状況より）

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん
受診者数	1,556,765	2,560,068	2,199,623	997,192	950,943	350,150
要精検率(%)	5.55	1.93	6.04	1.60	4.26	6.03
精検受診率(%)	72.4	78.1	65.1	80.8	89.1	62.9

4 がん検診に関する事業評価指標と許容値及び目標値

（平成20年がん検診の事業評価に関する委員会報告書より）

		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
精検受診率	許容値	70.0%以上	70.0%以上	70.0%以上	70.0%以上	80.0%以上
	目標値	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上	90.0%以上
要精検率	目標値	11.0%以下	3.0%以下	7.0%以下	1.4%以下*	11.0%以下*
がん発見率	許容値	0.11%以上	0.03%以上	0.13%以上	0.05%以上*	0.23%以上*
陽性反応適中度	許容値	1.0%以上	1.3%以上	1.9%以上	4.0%以上*	2.5%以上*

*乳がん検診、子宮がん検診の要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は参考値とする

令和2年度 出張型住民健診における発見がん調査結果

令和4年1月31日現在

【胃X線検査】

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数(%)
男	14,927	1,722 (11.5)
女	18,559	1,139 (6.1)
総数	33,486	2,861 (8.5)

2 精検結果内訳

	精 検 受 診															精 検 未 把 握	精 検 未 受 診	総 数	
	早 期 が ん	進 行 が ん	疑 問 症	食 道 が ん	そ の 他 の 悪 性 腫 瘍	粘 膜 下 腫 瘍	胃 潰 瘍	胃 潰 瘍 痕	十 二 指 腸 潰 瘍	十 二 指 腸 潰 瘍 痕	胃 ポ リ プ	異 型 上 皮	萎 縮 性 胃 炎	そ の 他 の 胃 炎	そ の 他 の 疾 患				異 常 な し
男	19	10	6	4	0	30	19	77	15	28	124	5	672	122	136	151	230	74	1,722
女	4	2	2	1	0	40	13	30	5	18	153	0	463	97	56	145	93	17	1,139
総数	23	12	8	5	0	70	32	107	20	46	277	5	1,135	219	192	296	323	91	2,861

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			調 査 数 (a-(b+c+d))	回 収 数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	そ の 他 (d)		
男	35	0	0	0	35	31 (88.6)
女	9	0	0	0	9	9 (100.0)
総数	44*	0	0	0	44	40 (90.9)

* 検査項目が空欄であった精検未把握者1名含む

2] 調査結果内訳 (調査数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を合わせた詳細)

	確 定 が ん			食 道 が ん	良 性 疾 患 (%)	異 常 な し (%)	未 確 定 (%)	追 跡 不 能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)					
男	21 (60.0)	6 (17.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (5.7)	0 (0.0)	2 (5.7)	4 (11.4)
女	4 (44.4)	2 (22.2)	1 (11.1)	0 (0.0)	2 (22.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数	25 (56.8)	8 (18.2)	1 (2.3)	0 (0.0)	4 (9.1)	0 (0.0)	2 (4.5)	4 (9.1)

3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
39歳以下	140	4 (2.9)	3 (75.0)	0 (0.00)
40～44歳	804	53 (6.6)	40 (75.5)	0 (0.00)
45～49歳	897	57 (6.4)	43 (75.4)	0 (0.00)
50～54歳	827	61 (7.4)	47 (77.0)	0 (0.00)
55～59歳	860	77 (9.0)	57 (74.0)	0 (0.00)
男 60～64歳	1,587	156 (9.8)	118 (75.6)	3 (0.19)
65～69歳	3,531	426 (12.1)	348 (81.7)	6 (0.17)
70～74歳	3,896	536 (13.8)	460 (85.8)	10 (0.26)
75～79歳	2,120	309 (14.6)	263 (85.1)	8 (0.38)
80歳以上	265	43 (16.2)	39 (90.7)	0 (0.00)
計	14,927	1,722 (11.5)	1,418 (82.3)	27 (0.18)
39歳以下	282	9 (3.2)	8 (88.9)	0 (0.00)
40～44歳	1,629	53 (3.3)	51 (96.2)	0 (0.00)
45～49歳	1,791	65 (3.6)	55 (84.6)	0 (0.00)
50～54歳	1,562	63 (4.0)	53 (84.1)	1 (0.06)
55～59歳	1,789	79 (4.4)	69 (87.3)	0 (0.00)
女 0～64歳	2,536	170 (6.7)	158 (92.9)	1 (0.04)
65～69歳	3,742	265 (7.1)	237 (89.4)	1 (0.03)
70～74歳	3,559	304 (8.5)	283 (93.1)	4 (0.11)
75～79歳	1,545	125 (8.1)	110 (88.0)	0 (0.00)
80歳以上	124	6 (4.8)	6 (100.0)	0 (0.00)
計	18,559	1,139 (6.1)	1,030 (90.4)	7 (0.04)
総 数	33,486	2,861 (8.5)	2,448 (85.6)	34 (0.10)

4] 発見がんの詳細

深達度	早 期		進 行				不 明
	M	SM	MP	SS	SE	SI	
男	14	7	2	0	3	1	0
女	3	1	1	0	0	1	1
総数	17	8	3	0	3	2	1

※以下の表 5]～11] は深達度不明の1名を除き集計した

5] 早期・進行別発見数

	深達度	発見数	総数 (%)
早期	M	17	25 (75.8)
	SM	8	
	MP	3	8 (24.2)
進行	SS	0	
	SE	3	
	SI	2	
総数		33	(100.0)

6] 肉眼的分類別発見数

	肉眼的分類	発見数
0型	I	1
	II a	4
	II c	19
	III	1
1型		2
		2
2型		1
		3
3型		2
		3
総 数		33

7] 進行度分類(病理)別発見数

進行度	発見数
I A	24
I B	2
II A	1
II B	1
III A	2
III B	0
III C	0
IV	3
不明	0
総数	33

8] 部位(壁在)分類別発見数

	早期	進行	総数
前壁	2	0	2
後壁	5	3	8
大彎	4	0	4
小彎	13	2	15
全周	0	1	1
未記入	1	2	3
総数	25	8	33

9] 部位(UML)分類別発見数

	早期	進行	総数
U	8	2	10
UM	1	1	2
MU	0	0	0
M	9	0	9
ML	1	0	1
LM	0	0	0
L	6	3	9
全体	0	2	2
総数	25	8	33

10] 組織型分類別発見数

組織型	発見数
pap	1
tub1	11
tub2	8
por1	1
por2	6
por(1,2不明)	0
sig	5
muc	0
特殊型	0
未記入	1
総数	33

11] 治療分類別発見数

	発見数
外科的手術	8
腹腔鏡下手術	8
内視鏡的手術	15
化学療法	2
総数	33

12] 初回・非初回別発見数

	受診者数	要精検者数	精検受診者数(%)	発見数(%)	発見がん内訳			
					早期(%)	進行(%)	不明	
初回	男	2,559	377	301 (79.8)	7 (0.27)	5 (71.4)	2 (28.6)	0
	女	3,300	256	228 (89.1)	0 (0.00)	0 (-)	0 (-)	0
	計	5,859	633	529 (83.6)	7 (0.12)	5 (71.4)	2 (28.6)	0
非初回	男	12,368	1,345	1,117 (83.0)	20 (0.16)	16 (80.0)	4 (20.0)	0
	女	15,259	883	802 (90.8)	7 (0.05)	4 (66.7)	2 (33.3)	1
	計	27,627	2,228	1,919 (86.1)	27 (0.10)	20 (76.9)	6 (23.1)	1
総数	33,486	2,861	2,448 (85.6)	34 (0.10)	25 (75.8)	8 (24.2)	1	

※早期・進行割合は深達度不明の者を除いて集計

※令和2年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も胃がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上胃がん検診を受診している者

【胃がんリスク層別化検診】

1 検診実施状況

1] 判定区分

	異常認めず		要二次検査	
	A群	B群	C群	D群
ペプシノゲン検査	-	-	+	+
ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	-	+	+	-

2] 判定区分内訳

年 齢	受診者数	A群(%)	B群(%)	C群(%)	D群(%)	B+C+D群(%)
39歳以下	139	122 (87.8)	11 (7.9)	6 (4.3)	0 (0.0)	17 (12.2)
40～44歳	428	378 (88.3)	36 (8.4)	13 (3.0)	1 (0.2)	50 (11.7)
45～49歳	284	257 (90.5)	16 (5.6)	9 (3.2)	2 (0.7)	27 (9.5)
50～54歳	239	207 (86.6)	21 (8.8)	9 (3.8)	2 (0.8)	32 (13.4)
55～59歳	266	196 (73.7)	38 (14.3)	22 (8.3)	10 (3.8)	70 (26.3)
60～64歳	343	272 (79.3)	34 (9.9)	27 (7.9)	10 (2.9)	71 (20.7)
65～69歳	507	377 (74.4)	48 (9.5)	64 (12.6)	18 (3.6)	130 (25.6)
70～74歳	542	392 (72.3)	68 (12.5)	60 (11.1)	22 (4.1)	150 (27.7)
75～79歳	10	6 (60.0)	1 (10.0)	3 (30.0)	0 (0.0)	4 (40.0)
総 数	2,758	2,207 (80.0)	273 (9.9)	213 (7.7)	65 (2.4)	551 (20.0)

3] 性別要二次検査者数

	受診者数	要二次検査者数 (%)
男	960	222 (23.1)
女	1,798	329 (18.3)
総数	2,758	551 (20.0)

2 二次検査結果内訳（発見がん追跡調査前の二次検査結果）

	二 次 検 査 受 診															二 次 検 査 未 把 握	二 次 検 査 未 受 診	総 数	
	早 進 が 食	そ の 他 の 胃 悪 性 腫 瘍	粘 膜 下 腫 瘍	胃 潰 瘍	胃 潰 瘍 痕	十 二 指 腸 潰 瘍 ・ 癒 痕	胃 ポ リ プ	異 型 上 皮	萎 縮 性 胃 炎	そ の 他 の 胃 炎	逆 流 性 食 道 炎	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し						
男	5	1	1	0	0	0	5	4	11	8	0	89	6	4	14	11	52	11	222
女	3	0	1	0	0	2	1	2	8	8	0	190	13	2	19	13	51	16	329
総数	8	1	2	0	0	2	6	6	19	16	0	279	19	6	33	24	103	27	551

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)*	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数(%)
		詳細把握(b)	がん以外(c)	その他(d)		
男	7	0	0	0	7	7 (100.0)
女	4	0	0	0	4	4 (100.0)
総数	11	0	0	0	11	11 (100.0)

* 追跡調査対象者数：二次検査結果でがん又はがん疑いと報告を受けた者。(二次検査未把握者の者のうちがん又はがん疑いの者を含む。また胃X線検診で追跡調査の対象となった3名を含む。)

2] 調査結果内訳

	発見がん			良性腫瘍(%)	未確定(%)
	早期(%)	進行(%)	不明(%)		
男	4 (57.1)	1 (14.3)	0 -	1 (14.3)	1 (14.3)
女	3 (75.0)	0 -	0 -	1 (25.0)	0 -
総数	7 (63.6)	1 (9.1)	0 -	2 (18.2)	1 (9.1)

3] 発見がん内訳

	受診者数	要二次検査者数(%)	二次検査受診者数(%)	発見がん数(%)	
男	39歳以下	31	1 (3.2)	1 (100.0)	0 (0.00)
	40～44歳	114	19 (16.7)	15 (78.9)	0 (0.00)
	45～49歳	61	7 (11.5)	5 (71.4)	0 (0.00)
	50～54歳	70	8 (11.4)	6 (75.0)	0 (0.00)
	55～59歳	79	25 (31.6)	16 (64.0)	0 (0.00)
	60～64歳	143	38 (26.6)	25 (65.8)	1 (0.70)
	65～69歳	200	48 (24.0)	34 (70.8)	2 (1.00)
	70～74歳	258	74 (28.7)	55 (74.3)	2 (0.78)
	75～79歳	4	2 (50.0)	2 (100.0)	0 (0.00)
	計	960	222 (23.1)	159 (71.6)	5 (0.52)
女	39歳以下	108	16 (14.8)	12 (75.0)	0 (0.00)
	40～44歳	314	31 (9.9)	23 (74.2)	0 (0.00)
	45～49歳	223	20 (9.0)	17 (85.0)	0 (0.00)
	50～54歳	169	24 (14.2)	18 (75.0)	0 (0.00)
	55～59歳	187	45 (24.1)	33 (73.3)	0 (0.00)
	60～64歳	200	33 (16.5)	26 (78.8)	1 (0.50)
	65～69歳	307	82 (26.7)	73 (89.0)	2 (0.65)
	70～74歳	284	76 (26.8)	58 (76.3)	0 (0.00)
	75～79歳	6	2 (33.3)	2 (100.0)	0 (0.00)
計	1,798	329 (18.3)	262 (79.6)	3 (0.17)	
総数	2,758	551 (20.0)	421 (76.4)	8 (0.29)	

4] リスク分類別発見がん

	B群	C群	D群
二次検査受診者数	197	173	51
男	1	2	2
発見がん数	1	2	0
女	1	2	0
計	2	4	2
陽性反応適中度(%)	(0.7)	(1.9)	(3.1)

5] 発見がんの詳細

深達度	早 期		進 行
	M	S M	S S
男	3	1	1
女	3	0	0
総数	6	1	1

6] 早期・進行別発見数

	深達度	発見数	総数(%)
早期	M	6	7 (87.5)
	S M	1	
進行	S S	1	1 (12.5)
総数		8	8 (100.0)

7] 肉眼的分類別発見数

肉眼的分類	発見数
0型 II a	2
II b	1
II c	4
2型	1
総数	8

8] 進行度分類（病理）別発見数

進行度	発見数
I A	7
II B	1
総数	8

9] 部位（壁在）別発見数

	早期	進行	総数
後壁	2	1	3
大彎	4	0	4
小彎	1	0	1
総数	7	1	8

10] 部位（UML）別発見数

	早期	進行	総数
U	1	0	1
UM	1	1	2
M	1	0	1
LM	1	0	1
L	3	0	3
総数	7	1	8

11] 組織型別発見数

組織型	B群	C群	D群	総数
tub1	0	1	1	2
tub2	1	2	1	4
sig	1	1	0	2
総数	2	4	2	8

12] 治療分類別発見数

	発見数
腹腔鏡下手術	4
内視鏡的治療	4
総数	8

4 まとめ

令和2年度胃X線検査における追跡調査について、要精検率8.5%、胃がん発見率0.10%、陽性反応適中度1.2%であり、がん検診事業評価指標値を胃がん発見率のみ満たしていない。追跡不能、未確定となった受診者のうち検診での胃がん判定でカテゴリー4以上のものが3件あり、これらの結果を加味できていれば胃がん発見率はがん検診事業指標値を満たしていたと推測される。

精検受診率は85.6%で昨年同様、目標値の90.0%は満たしていない。また初回受診と非初回受診のがん発見数を比較すると、早期がんの割合は初回受診71.4%、非初回受診76.9%であり、非初回受診の早期がん割合の方が高かった。今後とも精検受診率を高めるための働きかけ、経年受診の必要性について周知していく必要があると考えられる。

令和2年度の胃がんリスク層別化検診は7市3町において実施され、受診者数は2,758人（男性960人、女性1,798人）であり、二次検査の対象者数は551人で、二次検査未把握と二次検査未受診を除く二次検査受診者数は421人で、二次検査受診率は76.4%であった。また、胃がん発見率は0.29%で、男性5人（0.52%）、女性3人（0.17%）、陽性反応適中度1.5%であり、例年同様に男性のがん発見率が高かった。

胃がんリスク層別化検診でB・C・D群と判定された者は胃がんにかかりやすい状態にあるため、血液検査だけで終わらせず確実に専門の医療機関で二次検査を受診することが重要であるとする。

付表1 がん検診事業評価指標値との比較

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診率(%)	確定がん数(%)	陽性反応 適中度(%)
令和2年度	33,486	2,861 (8.5)	(85.6)	34 (0.10)	(1.2)
令和元年度	45,062	3,749 (8.3)	(83.0)	77 (0.17)	(2.1)
平成30年度	47,361	3,882 (8.2)	(84.0)	52 (0.11)	(1.3)
がん検診 事業評価 指標値	許容値	11.0以下	70.0以上	0.11以上	1.0以上
	目標値		90.0以上		

付表2 胃がんリスク層別化検診における発見がん調査結果

	受診者数	要二次検査者数(%)	二次検査 受診率(%)	発見がん数(%)	陽性反応 適中度(%)
令和2年度	2,758	551 (20.0)	(76.4)	8 (0.29)	(1.5)
令和元年度	4,158	839 (20.2)	(74.3)	9 (0.22)	(1.1)
平成30年度	5,327	1,363 (25.6)	(75.9)	12 (0.23)	(0.9)

令和2年度 出張型住民健診における発見肺がん追跡調査結果

令和4年1月31日現在

1 検診実施状況

1] 肺がん検診

	受診者数	要 精 検 者 数*		
		D判定	E判定** (%)	
男	胸部X線	24,144	344	687 (2.8)
	胸部X線+喀痰細胞診	876	27	33 (3.8)
	計	25,020	371	720 (2.9)
女	胸部X線	35,695	322	633 (1.8)
	胸部X線+喀痰細胞診	115	3	5 (4.3)
	計	35,810	325	638 (1.8)
総 数	胸部X線	59,839	666	1,320 (2.2)
	胸部X線+喀痰細胞診	991	30	38 (3.8)
	総 数	60,830	696	1,358 (2.2)

* 要精検者数 D判定は「肺癌以外の疾患を疑う」、E判定は「肺癌の疑い」

**E判定には喀痰細胞診でのみ要精検を含む。

2 精検結果内訳 (肺がん検診要精検者E判定1,358名の精検結果内訳)

	精 検 受 診												精 検	精 検	総 数	
	原 発 性 肺 がん 疑 い	肺 が ん 疑 い	転 移 性 肺 腫 瘍	悪 性 腫 瘍 以 外 の 肺 腫 瘍	そ の 他 の 悪 性 腫 瘍	縦 隔 腫 瘍	活 動 性 肺 結 核 疑 い	不 活 動 性 肺 結 核 疑 い	肺 結 核 治 癒	そ の 他 の 呼 吸 器 疾 患	循 環 器 疾 患	そ の 他 の 異 常				異 常 認 め ず
男	6	45	1	4	0	3	2	4	10	220	4	18	305	83	15	622
女	7	36	0	4	0	0	1	4	4	229	6	32	269	39	7	592
総数	13	81	1	8	0	3	3	8	14	449	10	50	574	122	22	1,214

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	51	0	6	0	45	45 (100.0)
女	43	0	1	0	42	40 (95.2)
総数	94	0	7	0	87	85 (97.7)

2] 調査結果内訳（調査数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を併せた詳細）

	発見がん			その他 (%)	異常 なし (%)	経過 観察 (%)	未確定 (%)	追跡 不能 (%)
	I 期 (%)	I 期外 (%)	不明 (%)					
男	10 (22.2)	11 (24.4)	0 (0.0)	20 (44.4)	0 (0.0)	3 (6.7)	1 (2.2)	0 (0.0)
女	20 (47.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	13 (31.0)	1 (2.4)	5 (11.9)	1 (2.4)	2 (4.8)
総数	30 (34.5)	11 (12.6)	0 (0.0)	33 (37.9)	1 (1.1)	8 (9.2)	2 (2.3)	2 (2.3)

3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診数 (%)	確定がん数 (%)	
男	39歳以下	256	3 (1.2)	3 (100.0)	0 (0.00)
	40～44歳	999	5 (0.5)	4 (80.0)	0 (0.00)
	45～49歳	1,053	10 (0.9)	5 (50.0)	0 (0.00)
	50～54歳	983	13 (1.3)	11 (84.6)	0 (0.00)
	55～59歳	1,088	26 (2.4)	21 (80.8)	0 (0.00)
	60～64歳	2,224	49 (2.2)	41 (83.7)	2 (0.09)
	65～69歳	5,444	153 (2.8)	131 (85.6)	4 (0.07)
	70～74歳	6,613	225 (3.4)	195 (86.7)	5 (0.08)
	75～79歳	3,960	139 (3.5)	125 (89.9)	5 (0.13)
	80歳以上	2,400	97 (4.0)	86 (88.7)	5 (0.21)
計	25,020	720 (2.9)	622 (86.4)	21 (0.08)	
女	39歳以下	440	2 (0.5)	2 (100.0)	0 (0.00)
	40～44歳	2,366	11 (0.5)	11 (100.0)	0 (0.00)
	45～49歳	2,452	16 (0.7)	15 (93.8)	0 (0.00)
	50～54歳	2,184	20 (0.9)	16 (80.0)	0 (0.00)
	55～59歳	2,731	39 (1.4)	36 (92.3)	1 (0.04)
	60～64歳	4,473	66 (1.5)	62 (93.9)	1 (0.02)
	65～69歳	7,518	128 (1.7)	116 (90.6)	7 (0.09)
	70～74歳	7,745	179 (2.3)	168 (93.9)	7 (0.09)
	75～79歳	3,890	111 (2.9)	106 (95.5)	3 (0.08)
	80歳以上	2,011	66 (3.3)	60 (90.9)	1 (0.05)
計	35,810	638 (1.8)	592 (92.8)	20 (0.06)	
総数	60,830	1,358 (2.2)	1,214 (89.4)	41 (0.07)	

4] 検査方法別 発見がん数と発見率

	実施人数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
胸部 X 線	60,830	1,358 (2.2)	1,214 (89.4)	41 (0.07)
ヘリカルCT	691	21 (3.0)	19 (90.5)	1 (0.14)
総 数	61,521	1,379 (2.2)	1,233 (89.4)	42 (0.07)

5] 検診実施状況 (胸部CT検診)

	受診者数	要精検者数		精検受診者数 (%)
		D判定	E判定 (%)	
ヘリカルCT	681	44	20 (2.9)	18 (90.0)
ヘリカルCT + 喀痰細胞診	10	3	1 (10.0)	1 (100.0)

6] 発見がん内訳 (胸部CT検診)

年齢・性別	前年度受診	組織分類	臨床病期分類	治療分類
70代・女性	無	腺癌	0	胸腔鏡下手術

7] 検診実施状況 (喀痰検診+胸部X線又は胸部CT)

	受診者数	要精検者数		発見がん数 (%)
		D判定	E判定 (%)	
喀痰検診	1,001	1	1 (0.2)	1 (0.10)

8] 発見がん内訳 (喀痰検診+胸部X線又は胸部CT)

年齢・性別	前年度受診	組織分類	臨床病期分類	治療分類
80代・男性	有	扁平上皮癌	III A	放射線療法

9] 発見がん内訳（胸部CT検診以外）

(1) 組織分類別発見数

	男	女	総数
腺 癌	14	18	32
扁平上皮癌	4	0	4
大細胞癌	0	0	0
小細胞癌	0	0	0
その他	1	1	2
不明	2	1	3
総 数	21	20	41

(2) 臨床病期分類別発見数

	男	女	総数
0期	0	1	1
I A期	0	0	0
I A1期	2	3	5
I A2期	4	9	13
I A3期	2	4	6
I B期	2	3	5
II A期	1	0	1
II B期	3	0	3
III A期	2	0	2
III B期	3	0	3
III C期	1	0	1
IV期	0	0	0
IV A期	1	0	1
IV B期	0	0	0
総 数	21	20	41

(3) 治療分類別発見数

	男	女	総数
手 術	3	3	6
手術、化学療法	1	0	1
胸腔鏡下手術	9	17	26
胸腔鏡下手術、化学療法	0	0	0
胸腔鏡下手術、放射線療法	0	0	0
化学療法	4	0	4
放射線療法	3	0	3
化学療法、放射線療法	1	0	1
総 数	21	20	41

4 初回、非初回別 追跡調査結果（胸部CT検診以外）

令和元年度地域保健・健康増進事業報告より

初 回：前年度受診していない者

非初回：前年度も検診を受診している者

（肺癌取扱い規約では、前回未受診・前回受診）

1] 初回、非初回別 発見率及びI期率

	受診者数	要精検者数	精検受診者数(%)	発見数(%)	発見がん内訳			
					I期(%)	I期外(%)	不明	
初 回	男	5,541	243	197 (81.1)	2 (0.04)	1 (50.0)	1 (50.0)	0
	女	8,470	198	175 (88.4)	6 (0.07)	6 (100.0)	0 (0.0)	0
	計	14,011	441	372 (84.4)	8 (0.06)	7 (87.5)	1 (12.5)	0
非初回	男	19,479	477	425 (89.1)	19 (0.10)	9 (47.4)	10 (52.6)	0
	女	27,340	440	417 (94.8)	14 (0.05)	14 (100.0)	0 (0.0)	0
	計	46,819	917	842 (91.8)	33 (0.07)	23 (69.7)	10 (30.3)	0
総 数	60,830	1,358	1,214 (89.4)	41 (0.07)	30 (73.2)	11 (26.8)	0	

2] 初回、非初回別 臨床病期分類別発見数

	初回	非初回
0期	1	0
I A期	0	0
I A1期	0	5
I A2期	4	9
I A3期	2	4
I B期	0	5
II A期	0	1
II B期	0	3
III A期	0	2
III B 期	0	3
III C期	0	1
IV期	0	0
IV A期	1	0
IV B期	0	0
総 数	8	33

5 喫煙及び組織型

1] 喫煙指数（本数/日×年数）

喫煙指数	男	女	総数
0～	5	20	25
200～	0	0	0
400～	2	0	2
600～	7	0	7
800～	1	0	1
1000～	4	0	4
1200～	1	0	1
1400～	1	0	1
総数	21	20	41

2] 喫煙指数及び組織型別発見数

喫煙指数	組織型	男	女	総数
600未満	腺癌	4	18	22
	扁平上皮癌	1	0	1
	大細胞癌	0	0	0
	小細胞癌	0	0	0
	その他	0	1	1
600以上	不明	2	1	3
	腺癌	10	0	10
	扁平上皮癌	3	0	3
	大細胞癌	0	0	0
	小細胞癌	0	0	0
	その他	1	0	1
総数		21	20	41

※喫煙歴なし 男4人、女20人

3] 喫煙習慣及び組織型別発見数

喫煙習慣	組織型	男	女	総数
吸わない	腺癌	2	18	20
	扁平上皮癌	0	0	0
	小細胞癌	0	0	0
	大細胞癌	0	0	0
	その他	0	1	1
	不明	2	1	3
止めた	腺癌	6	0	6
	扁平上皮癌	3	0	3
	小細胞癌	0	0	0
	大細胞癌	0	0	0
	その他	1	0	1
吸う	腺癌	6	0	6
	扁平上皮癌	1	0	1
	小細胞癌	0	0	0
	大細胞癌	0	0	0
総数		21	20	41

6 まとめ

肺癌取扱い規約の肺がん検診の手引きより「肺がん検診における胸部X線検査の判定基準と指導区分」の中で「肺がん検診における肺癌確診患者数（検診発見肺癌）とは、E1およびE2判定となった要精検者の中から原発性肺癌と確診された患者数を意味する」、また「D判定者の中から肺癌が発見されたとしても、検診発見肺癌とは認めない」との記述があり、これに基づいて追跡調査を行っている。

令和2年度、肺がん検診受診者は60,830人で、確定がんは41人であり、がん発見率は昨年度の0.08%に対し今年度は0.07%であった。また、肺がん検診受診者数は令和元年度の79,619人から2万人ほど減少し60,830人であった。令和2年度はコロナ禍であったため受診者数が例年と比べ下がったと考えられた。

初回受診者と非初回受診者を比較したところ、がん発見率は、初回受診者の0.06%に対し非初回受診者は0.07%であった。

I期肺がん割合は、初回受診者では87.5%だったが、非初回受診者では69.7%で、初回受診者の方がI期肺がんの割合が高かった。

肺がん検診の精検受診率については、胸部X線検診（喀痰細胞診併用を含む）では、前年度の88.1%に対し今年度は89.4%だった。

当施設における肺がん検診の成績と、がん検診事業評価指標の許容値を比較すると、全て満たしていた。今後は更なる精度管理の向上をはかるために、精検受診率の目標値である90%以上を目指して各関係機関と連携していきたい。（付表1）

付表1 がん検診事業評価指標値との比較（対象は胸部CT検診を除く肺がん検診とする）

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	確定がん数	がん発見率 (%)	陽性反応適中度 (%)
事業団 令和2年度	60,830	1,358 (2.2)	(89.4)	41	(0.07)	(3.0)
事業団 令和元年度	79,619	1,542 (1.9)	(88.1)	61	(0.08)	(3.9)
事業団 平成30年度	79,300	1,130 (1.4)	(88.5)	50	(0.06)	(4.4)
がん検診事業評価指標値	許容値	3.0以下	70.0以上		0.03以上	1.3以上
	目標値		90.0以上			

付表2 最終読影判定Dの発見肺がん

検査法	年代・性別	前年度受診	組織分類	臨床病期分類	治療分類
胸部X線のみ	70代・男性	有	扁平上皮癌	III B	化学療法
胸部X線のみ	70代・男性	有	小細胞癌	IV A	化学療法
胸部X線のみ	70代・男性	無	小細胞癌	IV A	化学療法
胸部X線のみ	80代・女性	無	腺癌	I A2	胸腔鏡下手術

付表3 胸部検診（肺がん検診・結核検診）における至急精検結果

1] 至急対象内訳

	男	女	総数
肺がん疑い	21	12	33
結核疑い	0	1	1
その他疑い	6	8	14
総 数	27	21	48

2] 精検結果内訳（肺がん疑い）

	男	女	総数
原発性肺がん	4	0	4
肺がん疑い	9	2	11
転移性肺腫瘍	0	0	0
その他の悪性腫瘍	0	0	0
循環器疾患	0	0	0
その他の呼吸器疾患	7	6	13
その他の異常	0	1	1
異常なし	1	2	3
不明	0	1	1
総 数	21	12	33

3] 精検結果内訳（結核疑い）

	男	女	総数
活動性肺結核（疑）	0	0	0
不活動性肺結核（疑）	0	0	0
肺がん	0	0	0
その他の呼吸器疾患	0	1	1
総 数	0	1	1

4] 精検結果内訳（その他疑い）

	男	女	総数
肺がん疑い	0	0	0
転移性肺腫瘍	0	0	0
その他の悪性腫瘍	0	0	0
縦隔腫瘍	0	0	0
循環器疾患	0	1	1
不活動性肺結核（疑）	0	0	0
その他の呼吸器疾患	5	5	10
異常なし	0	0	0
その他	0	1	1
不明	1	1	2
総 数	6	8	14

令和2年度 出張型住民健診における発見大腸がん追跡調査結果

令和4年1月31日現在

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数(%)
男	23,977	1,642 (6.8)
女	35,385	1,540 (4.4)
総数	59,362	3,182 (5.4)

2 精検結果内訳（発見がん追跡調査前の精検結果）

	精 検 受 診											精 検	精 検	総 数
	早 期 が ん	進 行 が ん	が ん 疑 い	ポ リ プ	ポ リ ポ イ シ ス	ク ロ ー ン 病	潰 瘍 性 大 腸 炎	憩 室	痔 疾 患	そ の 他 の 疾 患	異 常 認 め ず			
男	25	24	17	660	4	0	8	87	92	25	195	337	168	1,642
女	21	14	11	518	2	0	8	126	140	27	310	247	116	1,540
総数	46	38	28	1,178	6	0	16	213	232	52	505	584	284	3,182

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
男	71	0	1	4	66	61 (92.4)
女	48	1	0	1	46	42 (91.3)
総数	119	1	1	5	112	103 (92.0)

2] 調査結果内訳（調査回収数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を合わせた詳細）

	発 見 が ん				その他の 疾患 (%)	異常なし (%)	未確定 (%)	追跡不能 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)	その 他 の が ん (%) *				
男	24 (36.4)	22 (33.3)	1 (1.5)	1 (1.5)	11 (16.7)	0 (0.0)	2 (3.0)	5 (7.6)
女	20 (42.6)	14 (29.8)	1 (2.1)	2 (4.3)	6 (12.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (8.5)
総数	44 (38.9)	36 (31.9)	2 (1.8)	3 (2.7)	17 (15.0)	0 (0.0)	2 (1.8)	9 (8.0)

※その他のがん：虫垂癌 2人（進行がん2人）
肛門管癌1人（早期がん1人）

3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診数 (%)	発見がん数 (%)	
男	39歳以下	164	2 (1.2)	1 (50.0)	0 (0.00)
	40～44歳	1,005	46 (4.6)	29 (63.0)	2 (0.20)
	45～49歳	1,082	34 (3.1)	21 (61.8)	1 (0.09)
	50～54歳	1,047	43 (4.1)	27 (62.8)	0 (0.00)
	55～59歳	1,130	68 (6.0)	44 (64.7)	2 (0.18)
	60～64歳	2,169	126 (5.8)	84 (66.7)	5 (0.23)
	65～69歳	5,184	313 (6.0)	199 (63.6)	8 (0.15)
	70～74歳	6,171	450 (7.3)	315 (70.0)	15 (0.24)
	75～79歳	3,716	327 (8.8)	252 (77.1)	11 (0.30)
	80歳以上	2,309	233 (10.1)	165 (70.8)	4 (0.17)
計	23,977	1,642 (6.8)	1,137 (69.2)	48 (0.20)	
女	39歳以下	431	18 (4.2)	9 (50.0)	0 (0.00)
	40～44歳	2,367	78 (3.3)	51 (65.4)	1 (0.04)
	45～49歳	2,542	92 (3.6)	55 (59.8)	0 (0.00)
	50～54歳	2,408	84 (3.5)	55 (65.5)	0 (0.00)
	55～59歳	2,936	122 (4.2)	92 (75.4)	5 (0.17)
	60～64歳	4,562	155 (3.4)	119 (76.8)	3 (0.07)
	65～69歳	7,223	314 (4.3)	264 (84.1)	12 (0.17)
	70～74歳	7,203	322 (4.5)	259 (80.4)	4 (0.06)
	75～79歳	3,754	206 (5.5)	172 (83.5)	8 (0.21)
	80歳以上	1,959	149 (7.6)	101 (67.8)	4 (0.20)
計	35,385	1,540 (4.4)	1,177 (76.4)	37 (0.10)	
総数	59,362	3,182 (5.4)	2,314 (72.7)	85 (0.14)	

※4]～9]については、その他のがん（虫垂癌2人、肛門管癌1人）を除いて集計した

4] 占居部位別発見数

	男	女	総数
盲腸	1	5	6
上行結腸	9	3	12
横行結腸	6	7	13
下行結腸	2	2	4
S状結腸	8	5	13
直腸S状部	7	6	13
直腸	13	7	20
不明	1	0	1
総数	47	35	82

5] 組織分類別発見数

	男	女	総数
乳頭腺癌	0	3	3
管状腺癌	29	18	47
高分化	15	8	23
中分化	1	0	1
低分化	0	1	1
粘液癌	2	5	7
不明			
総数	47	35	82

6] 組織学的深達度別発見数

	男	女	総数
Tis (M)	13	13	26
T1a (SM)	3	4	7
T1b (SM)	8	3	11
T2 (MP)	7	3	10
T3 (SS)	14	10	24
T4a (SE)	1	1	2
不明	1	1	2
総数	47	35	82

7] 治療方法別発見数

	早期	進行	不明	総数
ポリペクトミー	3	0	0	3
内視鏡的粘膜切除	28	0	0	28
腹腔鏡下手術	12	19	1	32
外科手術	1	17	0	18
その他	0	0	1	1
総数	44	36	2	82

8] Stage分類別発見数

	男	女	総数
0	13	13	26
I	16	9	25
II a	8	2	10
II b	0	0	0
III a	2	1	3
III b	4	7	11
III c	0	2	2
IV	3	0	3
不明	1	1	2
総数	47	35	82

9] Dukes分類別発見数

	男	女	総数
A	29	22	51
B	8	2	10
C	6	10	16
D	3	0	3
不明	1	1	2
総数	47	35	82

10] 初回、非初回別早期割合

	受診者数	要精検者数	精検受診者数(%)	発見数(%)	発見がん内訳				
					早期(%)	進行(%)	不明	その他のがん	
初回	男	3,142	237	147 (62.0)	14 (0.45)	7 (0.22)	6 (0.19)	1	0
	女	4,625	215	139 (64.7)	5 (0.11)	3 (0.06)	1 (0.02)	0	1
	計	7,767	452	286 (63.3)	19 (0.24)	10 (0.13)	7 (0.09)	1	1
非初回	男	20,835	1,405	990 (70.5)	34 (0.16)	17 (0.08)	16 (0.08)	0	1
	女	30,760	1,325	1,038 (78.3)	32 (0.10)	17 (0.06)	13 (0.04)	1	1
	計	51,595	2,730	2,028 (74.3)	66 (0.13)	34 (0.07)	29 (0.06)	1	2
総数	59,362	3,182	2,314 (72.7)	85 (0.14)	44 (0.07)	36 (0.06)	2	3	

※早期・進行割合は深達度不明の者を除いて集計

※その他のがん:虫垂癌2人、肛門管癌1人

※令和2年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回:当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も大腸がん検診を受診していない者

非初回:当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上大腸がん検診を受診している者

4 まとめ

令和2年度の発見大腸がん追跡調査の結果、男性48人（虫垂癌1人を含む）、女性37人（虫垂癌1人、肛門管癌1人を含む）のがんが発見された。がん発見率は男性0.20%、女性0.10%であり、男性のがん発見率が有意に高かった（ $p<0.05$ ）。また、男女とも75～79歳のがん発見率が最も高い傾向を示した。なお、大腸癌取り扱い規約第9版では「虫垂と肛門管に発生した癌腫は大腸とは別に取り扱う」と明記されているが、大腸がん検診追跡調査票の病巣部位には両者の記載があることから、検診により発見された大腸がんとして集計に加え、発見がんの詳細については除外して集計した。

発見大腸がんの占居部位は直腸が20人と最も多く、次いで直腸S状部、S状結腸、横行結腸が13人であった。直腸S状部を含めた直腸は33人（40.2%）で、例年同様、癌が最も多く発見される部位となった。

組織型は管状腺癌が最も多く、高分化型47人、中分化型23人、低分化型1人を合わせると71人（86.6%）であった。また、粘液癌が1人発見された。

発見大腸がんの組織深達度では、癌が粘膜内にとどまるTis（M）が26人と最も多かった。不明2人を除いた早期がん（Tis（M）、T1a,T1b（SM））割合は、80人中44人（55.0%）であった。

発見大腸がんの治療方法は、早期がんに対して内視鏡下で行われるポリペクトミー、ESDを含む内視鏡的切除が82人中31人（37.8%）に実施された。腹腔鏡下手術は82人中32人（39.0%）に実施されており、進行がんに対しても36人中19人（52.8%）と、手術術式の中で多く用いられる方法となった。

大腸がん検診の受診歴別によるがん発見割合は、初回受診者（0.24%）、非初回受診者（0.13%）と、初回受診者のがん発見割合が有意に高かった（ $p<0.05$ ）。

「がん検診事業の評価に関する委員会」で示されたプロセス指標の許容値との比較を下記に示す。精度管理の指標となる要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度の全てにおいて許容値を満たしていた。

付表 がん検診事業評価指標値との比較

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
事業団 令和2年度	59,362	3,182 (5.4)	(72.7)	85 (0.14)	(2.7)
事業団 令和元年度	77,799	4,182 (5.4)	(70.6)	133 (0.17)	(3.2)
事業団 平成30年度	77,750	3,895 (5.0)	(71.1)	118 (0.15)	(3.0)
がん検診 事業評価指標	許容値	7.0%以下	70.0%以上	0.13%以上	1.9%以上
	目標値		90.0%以上		

大腸がん検診で発見されるがんは早期がんが多く、内視鏡下での切除にて治療が済む割合が高いことから、検診受診率と精検受診率の向上を併せた受診勧奨が、より多くの大腸がんの早期発見・早期治療に繋がるものと考えられる。

令和2年度 出張型住民健診における発見子宮頸がん追跡調査結果

令和4年1月31日現在

1 検診実施状況

1] 検査方式別実施状況

	受診者数	要精検者数(%)
細胞診のみ	1,130	43 (3.8)
ASC-US時HPV追加	22,294	400 (1.8)
HPV併用	5,772	293 (5.1)
総 数	29,196	736 (2.5)

2] 市町別実施方式

細胞診のみ	宇都宮市
ASC-US時HPV追加	栃木市・鹿沼市・真岡市・矢板市・益子町・塩谷町・那珂川町 芳賀町の医療機関方式 足利市の30歳・35歳・40歳の希望者以外 那須烏山市の31歳・36歳・41歳以外 茂木町の30歳未満 那須塩原市の30歳から59歳以外 大田原市の25歳から45歳以外
HPV併用	小山市・野木町・下野市 芳賀町の検診車方式 足利市の30歳・35歳・40歳の希望者 那須烏山市の31歳・36歳・41歳 茂木町の30歳以上 那須塩原市の30歳から59歳 大田原市の25歳から45歳

【細胞診のみ】

1 検診実施状況

1] 受診状況

	受診者数	要精検者数(%)
総数	1,130	43 (3.8)

2] 細胞診結果の内訳

	受診者数	ベセスダシステム判定結果内訳										
		適正標本										不適正 標本
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma		
19歳以下	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～24歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25～29歳	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30～34歳	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35～39歳	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～44歳	102	98	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0
45～49歳	87	75	9	0	1	2	0	0	0	0	0	0
50～54歳	106	100	2	0	1	3	0	0	0	0	0	0
55～59歳	97	92	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0
60～64歳	164	159	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0
65～69歳	222	215	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0
70～74歳	242	240	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
75～79歳	78	77	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80歳以上	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	1,130	1,087	26	0	8	8	0	1	0	0	0	0

2 精検結果内訳

	精検受診												結果未把握	精検未受診	総数	
	上皮内がん*	上皮内腺がん*	微小浸潤扁平上皮がん*	微小浸潤腺がん*	扁平上皮がん*	腺がん*	その他のがん	高度異形成*	中等度異形成	軽度異形成	腺異形成*	その他の疾患				異常を認めず
総数	0	0	0	0	1	0	0	4	1	5	0	2	23	6	1	43

* 追跡調査対象者

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調査除外内訳			調査数 (a-(b+c+d))	回収数(%)
		詳細把握(b)	がん以外(c)	その他(d)		
総数	5	0	0	0	5	5 (100.0)

2] 調査結果内訳

	発見がん		AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	腺異形成 (%)	その他 疾患 (%)	異常なし (%)
	I B期以上 (%)	I A期 (%)							
総数	0 (0.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)

3] 細胞診結果別発見がん数

細胞診結果 (ベセスダシステム)	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma
	適正	不適正									
	1,130	0									
要精検者数	43	-	-	26	-	8	8	-	1	-	-
精検受診者数	36	-	-	22	-	6	7	-	1	-	-
CIN3+AIS 数	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
発見がん数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)
19歳以下	0	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
20～24歳	0	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
25～29歳	2	1 (50.0)	1 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
30～34歳	6	0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
35～39歳	10	0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
40～44歳	102	4 (3.9)	4 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
45～49歳	87	12 (13.8)	10 (83.3)	1 (1.15)	1 (1.15)
50～54歳	106	6 (5.7)	5 (83.3)	2 (1.89)	0 (0.00)
55～59歳	97	5 (5.2)	5 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
60～64歳	164	5 (3.0)	3 (60.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
65～69歳	222	7 (3.2)	5 (71.4)	0 (0.00)	0 (0.00)
70～74歳	242	2 (0.8)	2 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
75～79歳	78	1 (1.3)	1 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
80歳以上	14	0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
総数	1,130	43 (3.8)	36 (83.7)	3 (0.27)	1 (0.09)

5] 初回、非初回別実施状況

※令和2年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

(1) 初回、非初回別発見数

	受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見数 (%)	発見がん内訳		
						I A期 (%)	I B期以上 (%)	不明
初 回	484	26	23 (88.5)	3 (0.62)	1 (0.21)	1 (100.0)	0 (0.0)	0
非初回	646	17	13 (76.5)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)	0
総 数	1,130	43	36 (83.7)	3 (0.27)	1 (0.09)	1 (100.0)	0 (0.0)	0

* I A期・I B期以上割合は不明の者を除いて集計

(2) 年齢別実施状況

	受診者数 (%)	要精検者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
39歳以下					
初 回	14 (77.8)	1 (7.1)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
非初回	4 (22.2)	0 (0.0)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
総 数	18 (100.0)	1 (5.6)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
40歳以上					
初 回	470 (42.3)	25 (5.3)	3 (0.64)	1 (0.21)	(4.0)
非初回	642 (57.7)	17 (2.6)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
総 数	1,112 (100.0)	42 (3.8)	3 (0.27)	1 (0.09)	(2.4)

6] 発見がんの詳細及び高度異形成、上皮内癌、上皮内腺癌の詳細

(1) 臨床進行期別発見数

臨床進行期	発見数
I A期及び高度異形成、上皮内癌、上皮内腺癌	4
高度異形成	1
上皮内癌	1
上皮内腺癌+上皮内癌	1
I A2期	1
I B期以上	0
総 数	4

(2) TNM分類別発見数

TNM分類	高度異形成	上皮内癌	上皮内腺癌+上皮内癌	I A期	I B期以上
Tis・N0・M0	0	1	0	0	0
T1a1・N0・M0	0	0	0	1	0
T不明・N不明・M不明	1	0	1	0	0
総数	1	1	1	1	0

(3) 組織分類別発見数

	I A期・I B期以外	I A期	I B期以上
高度異形成	1	-	-
上皮内癌	1	-	-
上皮内腺癌+上皮内癌	1	-	-
扁平上皮癌	0	1	0
腺癌	0	0	0
総 数	3	1	0

(4) 治療分類別発見数

術式	高度異形成	上皮内癌	上皮内腺癌 +上皮内癌	I A期	I B期以上
子宮頸部円錐切除術	0	0	0	0	0
単純子宮全摘出術	1	0	0	0	0
準広汎子宮全摘出術	0	0	0	1	0
広汎子宮全摘出術（腹腔鏡下）	0	1	0	0	0
不明	0	0	1	0	0
総 数	1	1	1	1	0

【ASC-US時HPV追加】

1 検診実施状況

1] 受診状況

	受診者数	要精検者数(%)
総 数	22,294	400 (1.8)

2] 細胞診結果の内訳

細胞診結果	受診者数	ベセスダシステム判定結果内訳									不適正 標 本
		適 正 標 本									
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma	
19歳以下	16	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24歳	450	414	9	0	26	1	0	0	0	0	0
25～29歳	592	554	14	1	17	5	0	1	0	0	0
30～34歳	1,003	944	25	1	26	5	0	2	0	0	0
35～39歳	1,398	1,320	38	1	26	11	0	2	0	0	0
40～44歳	1,841	1,735	51	0	37	14	0	4	0	0	0
45～49歳	2,141	2,000	85	2	37	8	0	9	0	0	0
50～54歳	1,878	1,804	44	3	16	5	0	5	0	1	0
55～59歳	2,017	1,978	23	2	9	3	0	1	0	0	1
60～64歳	2,666	2,615	34	1	8	7	0	1	0	0	0
65～69歳	3,484	3,431	27	3	9	10	0	4	0	0	0
70～74歳	3,029	2,994	17	1	8	9	0	0	0	0	0
75～79歳	1,272	1,257	10	1	3	1	0	0	0	0	0
80歳以上	507	504	2	0	1	0	0	0	0	0	0
総 数	22,294	21,565	380	16	223	79	0	29	0	1	1

3] ASC-USと判定された受診者のHPV-DNA検査結果の内訳

	受診者数	HPV(-)	HPV(+)(%)
19歳以下	1	0	1 (100.0)
20～24歳	9	4	5 (55.6)
25～29歳	14	10	4 (28.6)
30～34歳	25	18	7 (28.0)
35～39歳	38	33	5 (13.2)
40～44歳	51	44	7 (13.7)
45～49歳	85	81	4 (4.7)
50～54歳	44	41	3 (6.8)
55～59歳	23	22	1 (4.3)
60～64歳	34	26	8 (23.5)
65～69歳	27	23	4 (14.8)
70～74歳	17	14	3 (17.6)
75～79歳	10	10	0 (0.0)
80歳以上	2	2	0 (0.0)
総 数	380	328	52 (13.7)

2 精検結果内訳

	精 検 受 診													結 果	精 検	総 数
	上 皮 内 がん*	上 皮 内 腺 がん*	微 小 浸 潤 扁 平 上 皮 がん*	微 小 浸 潤 腺 がん*	扁 平 上 皮 がん*	腺 がん*	そ の 他 の がん*	高 度 異 形 成*	中 等 異 形 成	軽 度 異 形 成	腺 異 形 成*	そ の 他 の 疾 患**	異 常 を 認 め ず			
総数	3	1	0	0	0	0	2	29	41	149	0	11	89	54	21	400

* 追跡調査対象者

** その他の疾患から2人追跡対象とした

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追 跡 調 査 対 象 者 数 (a)	調 査 除 外 内 訳			調 査 数 (a-(b+c+d))	回 収 数 (%)
		詳 細 把 握 (b)	が ん 以 外 (c)	そ の 他 (d)		
総 数	35	0	0	0	35	34 (97.1)

2] 調査結果内訳

	発 見 が ん			AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	腺 異 形 成 (%)	そ の 他 疾 患 (%)	未 確 定 (%)
	I B 期 以 上 (%)	I A 期 (%)	不 明 (%)							
総 数	2 (5.7)	3 (8.6)	2 (5.7)	19 (54.3)	4 (11.4)	2 (5.7)	0 (0.0)	1 (2.9)	1 (2.9)	1 (2.9)

3] 細胞診結果別発見がん数

細胞診結果 (ベセスダシステム)	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma
	適 正	不 適 正									
	22,293	1	21,565	380	16	223	79	0	29	0	1
精検不要者数	328	-	-	328*	-	-	-	-	-	-	-
要精検者数	400	-	-	52	16	223	79	-	29	-	1
精検受診者数	325	-	-	41	13	179	65	-	26	-	1
CIN3+AIS 数	21	0	0	5	0	2	13	0	1	0	0
発見がん数	5	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0

* 細胞診はASC-USでHPVが(-)なので精検不要。

4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)
19歳以下	16	1 (6.3)	1 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
20～24歳	450	32 (7.1)	23 (71.9)	0 (0.00)	0 (0.00)
25～29歳	592	28 (4.7)	18 (64.3)	1 (0.17)	0 (0.00)
30～34歳	1,003	41 (4.1)	30 (73.2)	2 (0.20)	0 (0.00)
35～39歳	1,398	45 (3.2)	41 (91.1)	5 (0.36)	0 (0.00)
40～44歳	1,841	62 (3.4)	59 (95.2)	2 (0.11)	1 (0.05)
45～49歳	2,141	60 (2.8)	48 (80.0)	3 (0.14)	1 (0.05)
50～54歳	1,878	33 (1.8)	24 (72.7)	1 (0.05)	0 (0.00)
55～59歳	2,017	16 (0.8)	14 (87.5)	0 (0.00)	0 (0.00)
60～64歳	2,666	25 (0.9)	23 (92.0)	4 (0.15)	0 (0.00)
65～69歳	3,484	30 (0.9)	22 (73.3)	3 (0.09)	3 (0.09)
70～74歳	3,029	21 (0.7)	16 (76.2)	0 (0.00)	0 (0.00)
75～79歳	1,272	5 (0.4)	5 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
80歳以上	507	1 (0.2)	1 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
総数	22,294	400 (1.8)	325 (81.3)	21 (0.09)	5 (0.02)

子宮頸がんの発見がん5人以外に35～39歳と50～54歳で子宮体癌が2人、60～64歳で異型内膜増殖症が発見された

5] 初回、非初回別実施状況

※令和2年度地域保健・健康増進事業報告より、

初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

(1) 初回・非初回別発見数

	受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見数 (%)	発見がん内訳		
						I A期 (%)	I B期以上 (%)	不明
初回	4,432	169	136 (80.5)	13 (0.29)	4 (0.09)	3 (75.0)	1 (25.0)	0
非初回	17,862	231	189 (81.8)	8 (0.04)	1 (0.006)	0 (0.0)	1 (100.0)	0
総数	22,294	400	325 (81.3)	21 (0.09)	5 (0.02)	3 (60.0)	2 (40.0)	0

* I A期・I B期以上割合は不明の者を除いて集計

(2) 年齢別実施状況

	受診者数 (%)	要精検者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
初回	1,620 (46.8)	89 (5.5)	7 (0.43)	0 (0.00)	(0.0)
39歳以下 非初回	1,839 (53.2)	58 (3.2)	1 (0.05)	0 (0.00)	(0.0)
総数	3,459 (100.0)	147 (4.2)	8 (0.23)	0 (0.00)	(0.0)
初回	2,812 (14.9)	80 (2.8)	6 (0.21)	4 (0.14)	(5.0)
40歳以上 非初回	16,023 (85.1)	173 (1.1)	7 (0.04)	1 (0.006)	(0.6)
総数	18,835 (100.0)	253 (1.3)	13 (0.07)	5 (0.03)	(2.0)

6] 発見がんの詳細及び高度異形成、上皮内癌、上皮内腺癌の詳細

(1) 臨床進行期別発見数

臨床進行期	発見数	
I A期及び高度異形成、上皮内癌、上皮内腺癌	高度異形成	12
	上皮内癌	7
	上皮内腺癌	2
	I A1期	2
	I A2期	1
I B期以上	I B1期	1
	II B期	1
総数	26	

(2) TNM分類別発見数

TNM分類	高度異形成	上皮内癌	上皮内腺癌	I A期	I B期以上
Tis・N0・M0	2	1	0	0	0
T1a1・NO・MO	0	0	0	1	0
T1a1・NX・MO	0	0	0	1	0
T1a2・NX・MO	0	0	0	1	0
T1b1・N不明・M不明	0	0	0	0	1
T2b・N0・M0	0	0	0	0	1
T不明・N不明・M不明	10	6	2	0	0
総数	12	7	2	3	2

(3) 組織分類別発見数

	I A期・I B期以外	I A期	I B期以上
高度異形成	12	-	-
上皮内癌	7	-	-
上皮内腺癌	2	-	-
扁平上皮癌	0	2	2
腺癌+扁平上皮癌	0	1	0
総 数	21	3	2

(4) 治療分類別発見数

1) 手術療法

術式	高度異形成	上皮内癌	上皮内腺癌	I A期	I B期以上
子宮頸部円錐切除術	6	3	0	0	0
子宮頸部円錐切除術+単純子宮全摘出術	0	2	0	0	0
単純子宮全摘出術	2	2	0	1	0
単純子宮全摘出術+両側子宮附属器切除術	0	0	0	1	0
準広汎子宮全摘出術	0	0	0	1	1
不明	4	0	2	0	0
総 数	12	7	2	3	1

2) 化学療法および放射線療法

I B期以上のII B期で化学療法+放射線療法を1人施行

【HPV併用】

1 検診実施状況

1] 受診状況

	受診者数	要精検者数(%)
総 数	5,772	293 (5.1)

2] 細胞診結果内訳

細胞診結果	ベセスダシステム判定結果内訳										
	受診者数	適 正 標 本									不適正 標 本
		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno- carcinoma	
19歳以下	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24歳	181	164	6	0	10	1	0	0	0	0	0
25～29歳	353	316	15	0	17	2	0	1	0	0	2
30～34歳	665	592	45	2	24	1	0	1	0	0	0
35～39歳	917	825	56	1	26	5	0	4	0	0	0
40～44歳	898	809	63	2	14	4	0	6	0	0	0
45～49歳	641	583	38	0	13	4	0	3	0	0	0
50～54歳	447	426	9	0	10	1	0	1	0	0	0
55～59歳	350	336	11	0	1	2	0	0	0	0	0
60～64歳	398	387	4	1	2	2	0	1	0	0	1
65～69歳	373	360	9	0	2	1	0	1	0	0	0
70～74歳	328	317	7	0	2	2	0	0	0	0	0
75～79歳	156	151	3	0	2	0	0	0	0	0	0
80歳以上	63	58	3	0	2	0	0	0	0	0	0
総 数	5,772	5,326	269	6	125	25	0	18	0	0	3

3] HPV-DNA検査結果内訳

	受診者数	HPV(-)	HPV(+)(%)
19歳以下	2	2	0 (0.0)
20～24歳	181	160	21 (11.6)
25～29歳	353	302	48 (13.6)
30～34歳	665	599	65 (9.8)
35～39歳	917	833	79 (8.6)
40～44歳	898	852	45 (5.0)
45～49歳	641	609	32 (5.0)
50～54歳	447	428	18 (4.0)
55～59歳	350	333	16 (4.6)
60～64歳	398	386	11 (2.8)
65～69歳	373	358	15 (4.0)
70～74歳	328	313	15 (4.6)
75～79歳	156	153	3 (1.9)
80歳以上	63	58	5 (7.9)
総 数	5,772	5,386	373 (6.5)

*受診者数はHPV検査判定不能3人、不同意2人、希望なし8人を含む

2 精検結果内訳

	精 検 受 診												結 果	精 検	総 数	
	上 皮 内 がん *	上 皮 内 腺 がん *	微小浸潤扁平上皮がん *	微小浸潤腺がん *	扁平上皮がん *	腺 がん *	そ の 他 の がん *	高 度 異 形 成 *	中 等 異 形 成	軽 度 異 形 成	腺 異 形 成 *	そ の 他 の 疾 患				異 常 を 認 め ず
総数	2	1	0	0	0	0	0	7	24	141	0	6	78	26	8	293

* 追跡調査対象者

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追 跡 調 査 対 象 者 数 (a)	調査除外内訳			調 査 数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
総 数	10	0	0	0	10	10 (100.0)

2] 調査結果内訳

	発 見 が ん			AIS (%)	CIN3 (%)	CIN2 (%)	CIN1 (%)	腺異形成 (%)	その他の疾患 (%)	未確定 (%)
	I B期以上 (%)	I A期 (%)	不明 (%)							
総 数	0 (0.0)	1 (10.0)	1 (10.0)	0 (0.0)	5 (50.0)	0 (0.0)	2 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (10.0)

3] 細胞診結果別HPV結果及び発見がん数

細胞診結果 (ベセスダシステム)	標本の適否		NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	SCC	AGC	AIS	Adeno-carcinoma
	適正	不適正									
	5,769	3	5,326	269	6	125	25	0	18	0	0
HPV 検査 (-)	5,386	-	5,163	170	4	36	2	-	11	-	-
HPV 検査 (+)	373	-	154	99	2	88	23	-	7	-	-
未実施	10	-	9	0	0	1	0	-	0	-	-
精検不要者数	304	-	134	170	-	-	-	-	-	-	-
要精検者数	293	-	20*	99	6	125	25	-	18	-	-
精検受診者数	259	-	17	87	5	109	23	-	18	-	-
CIN3+AIS 数	5	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0
発見がん数	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0

*2年連続で細胞診 (NILM)・HPV (+) なので要精検となった。

4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見がん (%)
19歳以下	2	0 (0.0)	- (-)	- (-)	- (-)
20～24歳	181	15 (8.3)	13 (86.7)	0 (0.00)	0 (0.00)
25～29歳	353	32 (9.1)	26 (81.3)	0 (0.00)	0 (0.00)
30～34歳	665	56 (8.4)	49 (87.5)	0 (0.00)	0 (0.00)
35～39歳	917	59 (6.4)	54 (91.5)	2 (0.22)	1 (0.11)
40～44歳	898	46 (5.1)	43 (93.5)	1 (0.11)	1 (0.11)
45～49歳	641	29 (4.5)	27 (93.1)	2 (0.31)	0 (0.00)
50～54歳	447	14 (3.1)	14 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
55～59歳	350	7 (2.0)	7 (100.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
60～64歳	398	9 (2.3)	7 (77.8)	0 (0.00)	0 (0.00)
65～69歳	373	8 (2.1)	7 (87.5)	0 (0.00)	0 (0.00)
70～74歳	328	11 (3.4)	7 (63.6)	0 (0.00)	0 (0.00)
75～79歳	156	2 (1.3)	1 (50.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
80歳以上	63	5 (7.9)	4 (80.0)	0 (0.00)	0 (0.00)
総 数	5,772	293 (5.1)	259 (88.4)	5 (0.09)	2 (0.03)

子宮頸がんの発見がん2人以上に65～69歳で子宮体癌が1人発見された

5] 初回、非初回別実施状況

※ 令和2年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も子宮頸がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上子宮頸がん検診を受診している者

(1) 初回・非初回別発見数

	受診者数	要精検者数	精検受診者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見数 (%)	発見がん内訳		
						IA期 (%)	IB期以上 (%)	不明
初 回	2,974	152	133 (87.5)	4 (0.13)	2 (0.07)	1 (100.0)	0 (0.0)	1
非初回	2,798	141	126 (89.4)	1 (0.04)	0 (0.00)	0 (0.0)	0 (0.0)	0
総 数	5,772	293	259 (88.4)	5 (0.09)	2 (0.03)	1 (100.0)	0 (0.0)	1

*IA期・IB期以上割合は不明の者を除いて集計

(2) 年齢別発見数

	受診者数 (%)	要精検者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
初 回	1,324 (62.5)	94 (7.1)	1 (0.08)	1 (0.08)	(1.1)
39歳以下 非初回	794 (37.5)	68 (8.6)	1 (0.13)	0 (0.00)	(0.0)
総 数	2,118 (100.0)	162 (7.6)	2 (0.09)	1 (0.05)	(0.6)
初 回	1,650 (45.2)	58 (3.5)	3 (0.18)	1 (0.06)	(1.7)
40歳以上 非初回	2,004 (54.8)	73 (3.6)	0 (0.00)	0 (0.00)	(0.0)
総 数	3,654 (100.0)	131 (3.6)	3 (0.08)	1 (0.03)	(0.8)

6] 発見がん及び高度異形成、上皮内癌、上皮内腺癌の詳細

(1) 臨床進行期別発見数

臨床進行期	発見数	発見数
I A期及び高度異形成、上皮内癌、上皮内腺癌	高度異形成	3
	上皮内癌	2
	上皮内腺癌	0
	I A2期	1
I B期以上		0
不明		1
総 数		7

(2) T N M分類別発見数

TNM分類	高度異形成	上皮内癌	上皮内腺癌	I A期	I B期以上	不明
T1a2・NO・MO	0	0	0	1	0	0
T不明・N不明・M不明	3	2	0	0	0	1
総数	3	2	0	1	0	1

(3) 組織分類別発見数

	I A期・I B期以外	I A期	I B期以上	不明
高度異形成	3	-	-	0
上皮内癌	2	-	-	0
上皮内腺癌	0	-	-	0
扁平上皮癌	0	1	0	0
腺癌	0	0	0	0
不明	0	0	0	1
総 数	5	1	0	1

(4) 治療分類別発見数

術式	高度異形成	上皮内癌	上皮内腺癌	I A期	I B期以上	不明
子宮頸部円錐切除術	2	1	0	0	0	0
単純子宮全摘出術	0	1	0	0	0	0
準広汎子宮全摘出術	0	0	0	1	0	0
広汎子宮全摘出術	0	0	0	0	0	1
不明	1	0	0	0	0	0
総 数	3	2	0	1	0	1

子宮頸がん総数の集計表

受診者数	要精検者数 (%)	CIN3+AIS数 (%)	発見がん数 (%)	CIN3+AIS数及び発見がん数 (%)
29,196	736 (2.5)	29 (0.10)	8 (0.03)	37 (0.13)

4 まとめ

令和2年度の発見子宮頸がん追跡調査の結果は、治療対象である子宮頸部上皮内腫瘍3（以下CIN3）及び上皮内腺癌（以下AIS）を追加して集計した。CIN3+AIS発見数及び発見がん数とそれぞれの発見率は細胞診のみの方式でCIN3+AIS発見数は3人（0.27%）、発見がん数1人（0.09%）（I A期）であった。ASC-US時HPV追加方式でCIN3+AIS発見数は21人（0.09%）であり、発見がん数は5人（0.02%）（I A期3人、I B期1人、II B期1人）であった。HPV併用方式ではCIN3+AIS発見数は5人（0.09%）、発見がん数は2人（0.03%）（I A期1人、不明1人）であった。3方式の中では細胞診のみの方式の発見がん及びCIN3+AIS発見率が高い傾向を示していた。その理由としては受診者数が1,130人と少なかったため高値になったと思われる。

初回、非初回別実施状況は、細胞診のみの方式ではCIN3+AIS発見率は、初回受診・39歳以下、非初回受診・39歳以下、非初回受診・40歳以上はすべて0%、初回受診・40歳以上で0.64%であり、がん発見率は初回受診・39歳以下、非初回受診・39歳以下、非初回受診・40歳以上はすべて0%、初回受診・40歳以上で0.21%であった。ASC-US時HPV追加方式ではCIN3+AIS発見率は、初回受診・39歳以下0.43%、非初回受診・39歳以下0.05%、初回受診・40歳以上0.21%、非初回受診・40歳以上で0.04%であり、がん発見率は初回受診・39歳以下と非初回受診・39歳以下で0%、初回受診・40歳以上0.14%、非初回受診・40歳以上で0.006%であった。HPV併用方式ではCIN3+AIS発見率は、初回受診・39歳以下0.08%、非初回受診・39歳以下0.13%、初回受診・40歳以上0.18%、非初回受診・40歳以上で0%であり、がん発見率は初回受診・39歳以下0.08%、非初回受診・39歳以下0%、初回受診・40歳以上0.06%、非初回受診・40歳以上で0%であった。

組織型は、細胞診のみの方式では前駆病変は高度異形成、上皮内癌、上皮内腺癌+上皮内癌がそれぞれ1人（0.09%）ずつであり、発見されたがん1人（0.09%）は扁平上皮系であった。またASC-US時HPV追加方式では前駆病変は高度異形成が12人（0.05%）、上皮内癌が7人（0.03%）、上皮内腺癌が2人（0.009%）であり、発見されたがん5人のうち、扁平上皮系が4人（0.02%）、腺癌+扁平上皮癌が1人（0.004%）であった。HPV併用方式では前駆病変は高度異形成が3人（0.05%）、上皮内癌が2人（0.03%）であり、発見されたがん2人のうち、扁平上皮系、不明がそれぞれ1人（0.02%）ずつであった。

治療法の手術方式別は、細胞診のみの方式では単純子宮全摘出術が高度異形成で1人（0.09%）、準広汎子宮全摘出術はがん（I A期）で1人（0.09%）、広汎子宮全摘出術（腹腔鏡下）は上皮内癌で1人（0.09%）であった。ASC-US時HPV追加方式では、子宮頸部円錐切除術は高度異形成6人、上皮内癌3人、合わせて9人（0.04%）であった。子宮頸部円錐切除術+単純子宮全摘出術は上皮内癌で2人（0.009%）であった。単純子宮全摘出術は高度異形成2人、上皮内癌2人、がん（I A期）1人と合わせて5人（0.02%）であった。単純子宮全摘出術+両側子宮付属器切除術はがん（I A期）1人（0.004%）であり、準広汎子宮全摘出術はがん（I A期とI B期）2人（0.009%）であった。HPV併用方式では子宮頸部円錐切除術は高度異形成2人、上皮内癌1人、合わせて3人（0.05%）、単純子宮全摘出術は上皮内腺癌で1人（0.02%）、準広汎子宮全摘出術はがん（I A期）で1人（0.02%）、広汎子宮全摘出術はがん（臨床進行期不明）で1人（0.02%）であった。

当施設における子宮頸がん検診の成績と事業評価指標値との比較は、付表の通りである。追跡調査の結果、要精検率及び陽性反応適中度は、細胞診のみの方式、ASC-US時HPV追加方式、HPV併用方式の3方式ともに、許容値を満たしていなかった。がん発見率は、細胞診のみの方式で許容値を満たしていたがASC-US時HPV追加方式、HPV併用方式では許容値を満たしていなかった。以前はがんに含まれていた上皮内癌、上皮内腺癌が、がん取扱い規約の変更により、がんとして取り扱われなくなったことも一因である。精検受診率は、3方式とも許容値を満たしていたが、目標値は満たしていなかった。ベセスダシステム導入に伴い、ASC-US判定が増えたことにより、要精検率と陽性反応適中度等は許容値を満たしていない値になっているのが現状である。今後は、ベセスダシステムに準拠した新たながん検診事業評価指標値が必要と考える。

付表 がん検診事業評価指標との比較

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応適中度 (%)
事業団 令和2年度	細胞診のみ 1,130	43 (3.8)	83.7	1 (0.09)	(2.3)
	ASC-US時 HPV追加 22,294	400 (1.8)	81.3	5 (0.02)	(1.3)
	HPV併用 5,772	293 (5.1)	88.4	2 (0.03)	(0.7)
事業団 令和元年度	細胞診のみ 1,389	57 (4.1)	78.9	0 (0.00)	(0.0)
	ASC-US時 HPV追加 28,195	534 (1.9)	78.1	5 (0.02)	(0.9)
	HPV併用 8,432	405 (4.8)	85.2	1 (0.01)	(0.2)
事業団 平成30年度	細胞診のみ 1,377	48 (3.5)	89.6	0 (0.00)	(0.0)
	ASC-US時 HPV追加 28,844	458 (1.6)	71.0	4 (0.01)	(0.9)
	HPV併用 12,250	445 (3.6)	86.5	2 (0.02)	(0.4)
がん検診事業 評価指標	許容値 目標値	1.4%以下	70.0%以上 90.0%以上	0.05%以上	4.0%以上

令和2年度 出張型住民健診における発見乳がん追跡調査結果

令和4年1月31日現在

本調査票では、マンモグラフィをMG、超音波検査をUSと表記する。

1 検診実施状況

1] 検診方式別実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
MG + US	33,761	1,294 (3.8)
US	3,612	112 (3.1)
総 数	37,373	1,406 (3.8)

2] 年齢別実施状況

	39歳以下 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70歳以上 (%)
MG + US	621 (1.8)	6,765 (20.0)	6,289 (18.6)	10,570 (31.3)	9,516 (28.2)
US	3,324 (92.0)	117 (3.2)	44 (1.2)	54 (1.5)	73 (2.0)
総 数	3,945 (10.6)	6,882 (18.4)	6,333 (16.9)	10,624 (28.4)	9,589 (25.7)

2 精検結果内訳

	精 検 受 診									精 検 未 把 握	精 検 未 受 診	総 数
	早 期 が ん	進 行 が ん	が ん 疑 い	線 維 腺 腫	乳 腺 症	嚢 胞	乳 管 内 乳 頭 腫	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し			
総 数	87	13	24	188	336	167	35	75	378	80	23	1,406

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			追加調査 (e)*	調 査 数 (a-(b+c+d)+e)	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)			
総数	124	0	1	0	9	132	131 (99.2)

*追加調査：精密検査結果連絡票ではその他の疾患であったが、記載よりがんが疑われるため調査とした者

2] 調査結果内訳（調査数及び調査前に発見がんの詳細を把握していた数を併せた詳細）

	発 見 が ん			良 性 (%)	経 過 観 察 (%)	異 常 な し (%)	未 確 定 (%)	追 跡 不 能 (%)
	早 期 (%)	進 行 (%)	不 明 (%)					
総数	91 (68.9)	20 (15.2)	1 (0.8)	10 (7.6)	7 (5.3)	0	2 (1.5)	1 (0.8)

3] 検診方式別調査結果内訳

	発見がん			良性	経過観察	異常なし	未確定	追跡不能
	早期	進行	不明					
MG+US	89	17	1	10	7	0	2	1
US	2	3	0	0	0	0	0	0

4] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
29歳以下	110	5 (4.5)	4 (80.0)	0 (0.00)
30～34歳	1,266	46 (3.6)	41 (89.1)	1 (0.08)
35～39歳	2,569	104 (4.0)	95 (91.3)	4 (0.16)
40～44歳	3,498	239 (6.8)	221 (92.5)	9 (0.26)
45～49歳	3,384	195 (5.8)	181 (92.8)	8 (0.24)
50～54歳	3,011	146 (4.8)	133 (91.1)	13 (0.43)
55～59歳	3,322	104 (3.1)	94 (90.4)	9 (0.27)
60～64歳	4,493	146 (3.2)	139 (95.2)	18 (0.40)
65～69歳	6,131	163 (2.7)	156 (95.7)	21 (0.34)
70～74歳	5,781	143 (2.5)	133 (93.0)	15 (0.26)
75～79歳	2,742	86 (3.1)	80 (93.0)	10 (0.36)
80歳以上	1,066	29 (2.7)	26 (89.7)	4 (0.38)
総数	37,373	1,406 (3.8)	1,303 (92.7)	112 (0.30)

5] 臨床病期 (Stage) 分類別発見数

臨床病期分類	発見数 (%)
早期	0 (Tis) 20 (81.3)
	I 71
	II A 6
	II B 10
進行	III A 1 (17.9)
	III B 2
	IV 1
不明	1
総数	112

※ 両側乳がん1人あり、Stageの高い方に計上

6] 組織学的分類別発見数

組織学的分類	発見数 (%)
非浸潤性乳管癌	19 (17.0)
浸潤性乳管癌	腺管形成型 16 (14.3)
	充実型 12 (10.7)
	硬性型 33 (29.5)
	亜型不明 22 (19.6)
特殊型	粘液癌 1 (0.9)
	浸潤性小葉癌 5 (4.5)
	アポクリン癌 1 (0.9)
不明・未記入	3 (2.7)
総数	112

※ 両側乳がん1人あり、Stageの高い方に計上

4 検診方式別実施状況

1] MG + US併用方式 (MGはMLO1方向撮影、クーポン券利用の40歳代は原則2方向撮影)

(1) 年齢別検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)	検査別要精検者数 (%)		精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
			MG	US		
29歳以下	2	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)
30~34歳	116	10 (8.6)	5 (4.3)	5 (4.3)	9 (90.0)	0 (0.00)
35~39歳	503	39 (7.8)	29 (5.8)	12 (2.4)	38 (97.4)	0 (0.00)
40~44歳	3,402	236 (6.9)	144 (4.2)	109 (3.2)	219 (92.8)	9 (0.26)
45~49歳	3,363	194 (5.8)	108 (3.2)	108 (3.2)	180 (92.8)	8 (0.24)
50~54歳	2,987	146 (4.9)	94 (3.1)	70 (2.3)	133 (91.1)	13 (0.44)
55~59歳	3,302	104 (3.1)	63 (1.9)	52 (1.6)	94 (90.4)	9 (0.27)
60~64歳	4,471	146 (3.3)	97 (2.2)	64 (1.4)	139 (95.2)	18 (0.40)
65~69歳	6,099	163 (2.7)	94 (1.5)	89 (1.5)	156 (95.7)	21 (0.34)
70~74歳	5,751	142 (2.5)	77 (1.3)	84 (1.5)	132 (93.0)	15 (0.26)
75~79歳	2,717	85 (3.1)	50 (1.8)	43 (1.6)	79 (92.9)	10 (0.37)
80歳以上	1,048	29 (2.8)	18 (1.7)	16 (1.5)	26 (89.7)	4 (0.38)
総数	33,761	1,294 (3.8)	779 (2.3)	652 (1.9)	1,205 (93.1)	107 (0.32)

* 検査別要精検者数については総合判定後の内訳

(2) 臨床病期 (Stage) 分類別発見数

臨床病期分類	発見数 (%)
早期	20 (83.2)
0 (Tis)	20
I	69
II A	4
II B	9
進行	1 (15.9)
III A	1
III B	2
IV	1
不明	1
総数	107

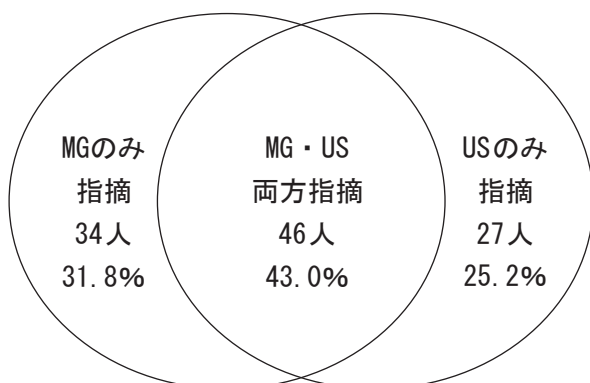
※ 両側乳がん1人あり、Stageの高い方に計上

(3) 組織学的分類別発見数

組織学的分類	発見数 (%)
非浸潤性乳管癌	19 (17.8)
腺管形成型	16 (15.0)
浸潤性充実型乳管癌	10 (9.3)
硬性型	30 (28.0)
垂型不明	22 (20.6)
粘液癌	1 (0.9)
特殊型浸潤性小葉癌	5 (4.7)
アポクリン癌	1 (0.9)
不明・未記入	3 (2.8)
総数	107

※ 両側乳がん1人あり、Stageの高い方に計上

(4) 検査方法別発見がん内訳



(5) 手術方法

切除範囲	乳房部分切除術	乳房切除術	皮膚温存 乳房全切除術	不明
総数	58	41	1	7

*両側乳がんが1人。のべ総数107。

(6) 検査方法別発見率及び陽性反応適中度

		MG		US		総数	
実施人数						33,761	
発見がん数 (%)		80	(0.24)	73	(0.22)	107	(0.32)
総合判定前	要精検者数 (%)	974	(2.9)	661	(2.0)	1,490	(4.4)
	陽性反応適中度 (%)	8.2		11.0		7.2	
総合判定後	要精検者数 (%)	779	(2.3)	652	(1.9)	1,294	(3.8)
	陽性反応適中度 (%)	10.3		11.2		8.3	

(7) 初回・非初回別実施状況

※令和元年度地域保健・健康増進事業報告より、

初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も乳がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上乳がん検診を受診している者

1) 検査方法別要精検率内訳

	初回 (13.8%)				非初回 (86.2%)			
	受診者数	要精検者数 (%)	検査方法別要精検率 (%)		受診者数	要精検者数 (%)	検査方法別要精検率 (%)	
			MG	US			MG	US
29歳以下	2	0 (0.0)	0.0	0.0	0	- (-)	-	-
30～34歳	64	7 (10.9)	6.3	4.7	52	3 (5.8)	1.9	3.8
35～39歳	158	21 (13.3)	10.8	3.8	345	18 (5.2)	3.5	1.7
40～44歳	803	100 (12.5)	9.1	4.7	2,599	136 (5.2)	2.7	2.7
45～49歳	638	89 (13.9)	10.0	5.6	2,725	105 (3.9)	1.6	2.6
50～54歳	500	77 (15.4)	11.2	6.4	2,487	69 (2.8)	1.5	1.5
55～59歳	499	54 (10.8)	7.8	4.4	2,803	50 (1.8)	0.9	1.1
60～64歳	627	69 (11.0)	8.9	3.5	3,844	77 (2.0)	1.1	1.1
65～69歳	626	59 (9.4)	7.5	3.8	5,473	104 (1.9)	0.9	1.2
70～74歳	440	42 (9.5)	6.6	5.2	5,311	100 (1.9)	0.9	1.1
75～79歳	198	34 (17.2)	12.6	7.1	2,519	51 (2.0)	1.0	1.2
80歳以上	105	7 (6.7)	5.7	2.9	943	22 (2.3)	1.3	1.4
総数	4,660	559 (12.0)	8.9	4.8	29,101	735 (2.5)	1.2	1.5

*検査方法別要精検率については総合判定後の内訳

2) 初回、非初回別 病期分類内訳

病期分類		初回：受診者数 / 発見率(%)*	非初回：受診者数 / 発見率(%)*	総数：受診者数 / 発見率(%)*
		4,660/0.86 発見数(%)	29,101/0.23 発見数(%)	33,761/0.32 発見数(%)
早期	0	5 (75.0)	15 (88.1)	20 (83.2)
	I	25	44	69
進行	II A	1	3	4
	II B	5	4	9
	III A	1 (25.0)	(10.4)	1 (15.9)
	III B	2		2
	IV	1		1
不 明		1	1	
総 数		40	67	107

*発見率は未記入、不明のものもすべて含む

2] US法

※ 主に30代のUS単独検診と、40歳以上で当施設が定める禁忌事項に当てはまりMG撮影が出来なかった受診者

(1) 年齢別検診実施状況

	受診者数	要精検者数(%)	精検受診者数(%)	発見がん数(%)
29歳以下	108	5 (4.6)	4 (80.0)	0 (0.00)
30～34歳	1,150	36 (3.1)	32 (88.9)	1 (0.09)
35～39歳	2,066	65 (3.1)	57 (87.7)	4 (0.19)
40～44歳	96	3 (3.1)	2 (66.7)	0 (0.00)
45～49歳	21	1 (4.8)	1 (100.0)	0 (0.00)
50～54歳	24	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)
55～59歳	20	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)
60～64歳	22	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)
65～69歳	32	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)
70～74歳	30	1 (3.3)	1 (100.0)	0 (0.00)
75～79歳	25	1 (4.0)	1 (100.0)	0 (0.00)
80歳以上	18	0 (0.0)	- (-)	- (0.00)
総 数	3,612	112 (3.1)	98 (87.5)	5 (0.14)

(2) 臨床病期 (Stage) 分類別発見数

臨床病期分類	発見数(%)
早期 I	2 (40.0)
進行 II A	2 (60.0)
II B	1
総 数	5

(3) 組織学的分類別発見数

組織学的分類	発見数(%)
浸潤性乳管癌 充 実 型	2 (40.0)
硬 性 型	3 (60.0)
総 数	5

(4) 手術方法

切除範囲	乳房全切除術	不明
総数	3	2

(5) 検査方法別発見率及び陽性反応適中度

	受診者数	要精検者数	発見がん数(%)	陽性反応適中度(%)
US	3,612	112	5 (0.14)	4.5

(6) 40歳未満に限定した陽性反応適中度

	受診者数	要精検者数	発見がん数(%)	陽性反応適中度(%)
US	3,324	106	5 (0.15)	4.7

5 まとめ

令和2年度の受診者数は37,373人であり、令和元年度の51,089人から13,716人減少している。

追跡調査票の回収率は99.2%と令和元年度の94.3%から大きく増加した。発見がん数は112人であった。要精検率3.8%、精検受診率92.7%、がん発見率0.30%、陽性反応適中度8.0%であり、がん検診事業評価指数の許容値を満たし、精検受診率は目標値をも満たしていた。

1) MG + US併用方式の受診者数は33,761人で、当施設の乳がん検診の90.3%を占めている。発見がん数は107人であった。要精検率3.8%、精検受診率93.1%、がん発見率0.32%、陽性反応適中度8.3%であり、がん検診事業評価指数の許容値を満たしていた。MGとUS両方で指摘し発見されたがんは46人43.0%、USのみで発見されたがんが27人25.2%、MGのみで発見されたがんは34人31.8%であった。

平成29年度より分離併用総合判定方式を導入し、今年度は4年目となる。総合判定の対象となったのは1,490人4.4%であり、総合判定後1,294人3.8%が要精検、がん発見率0.32%、陽性反応適中度8.3%となった。令和元年度、総合判定の対象となったのは1,957人4.3%であり、総合判定後1,669人3.7%が要精検、がん発見率0.27%、陽性反応適中度7.4%で、要精検率は変わらないが、がん発見率、陽性反応適中度は向上した。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で受診者数が大きく減少したが、要精検率、発見率等に大きな変化はなかった。今年度の受診者数減少が来年度以降にどのような影響を与えるか、注視していきたい。

2) US単独方式の受診者数は3,612人であり、がん発見数は5人でがん発見率0.14%であった。

付表 がん検診事業評価指標との比較

	受診者数	要精検者数 (%)	精検 受診率 (%)	発見がん数 (%)	陽性反応 適中度 (%)
事業団 令和2年度	37,373	1,406 (3.8)	(92.7)	112 (0.30)	(8.0)
事業団 令和元年度	51,089	1,841 (3.6)	(89.7)	128 (0.25)	(7.0)
事業団 平成30年度	51,596	1,996 (3.9)	(90.8)	109 (0.21)	(5.5)
がん検診 事業評価指数	許容値 目標値	11.0%以下	80.0%以上 90.0%以上	0.23%以上	2.5%以上

※ 乳がん検診の要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は参考値とする

令和2年度 出張型住民健診における発見前立腺がん追跡調査結果

令和4年1月31日現在

1 検診実施状況

	受診者数	要精検者数 (%)
総数	21,020	1,849 (8.8)

※ 年齢階層別 PSA 基準値 (64歳以下: 3.00ng/mL 以下、65歳～69歳: 3.50ng/mL 以下、70歳以上: 4.00ng/mL 以下)

2 精検結果内訳

	精 検 受 診							精 検 未 把 握	精 検 未 受 診	総 数
	早 期 が ん	進 行 が ん	が ん 疑 い	前 立 腺 肥 大 症	前 立 腺 炎	そ の 他 の 疾 患	異 常 な し			
総 数	65	10	359	442	39	21	463	334	116	1,849

3 発見がん追跡調査結果

1] 調査状況

	追跡調査 対象者数 (a)	調 査 除 外 内 訳			調 査 数 (a-(b+c+d))	回収数 (%)
		詳細把握 (b)	がん以外 (c)	その他 (d)		
総 数	436	0	0	4	432	420 (97.2)

2] 調査結果内訳

	発 見 が ん			そ の 他 の 疾 患 (%)	異 常 な し (%)	経 過 観 察 (%)	未 確 定 (%)
	早期 (%)	進行 (%)	不明 (%)				
総 数	105 (25.0)	18 (4.3)	4 (1.0)	44 (10.5)	37 (8.8)	202 (48.1)	10 (2.4)

3] 発見がん内訳

	受診者数	要精検者数 (%)	精検受診者数 (%)	発見がん数 (%)
39歳以下	7	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.00)
40～44歳	224	4 (1.8)	3 (75.0)	0 (0.00)
45～49歳	311	7 (2.3)	6 (85.7)	0 (0.00)
50～54歳	1,066	37 (3.5)	22 (59.5)	1 (0.09)
55～59歳	1,212	56 (4.6)	36 (64.3)	2 (0.17)
60～64歳	2,268	207 (9.1)	149 (72.0)	9 (0.40)
65～69歳	5,069	449 (8.9)	338 (75.3)	36 (0.71)
70～74歳	5,626	462 (8.2)	335 (72.5)	37 (0.66)
75～79歳	3,327	355 (10.7)	293 (82.5)	31 (0.93)
80歳以上	1,910	272 (14.2)	217 (79.8)	11 (0.58)
総 数	21,020	1,849 (8.8)	1,399 (75.7)	127 (0.60)

4] 臨床病期 (ABCD分類) 別発見数

ABCD分類	発見数 (%)
B0	6 (4.7)
B1	57 (44.9)
B2	42 (33.1)
C	13 (10.2)
D	5 (3.9)
不 明	4 (3.1)
総 数	127

5] 臨床病期 (T分類) 別発見数

T分類	発見数 (%)
T1c	11 (8.7)
T2a	61 (48.0)
T2b	10 (7.9)
T2c	25 (19.7)
T3a	11 (8.7)
T3b	5 (3.9)
T4	2 (1.6)
Tx	1 (0.8)
不 明	1 (0.8)
総 数	127

(1) T分類による所属リンパ節への転移 (N) 及び遠隔転移 (M) の内訳

臨床病期分類	発見数	所属リンパ節転移 (N)				遠隔転移 (M)			
		N0	N1	NX	不明	M0	M1	MX	不明
T1c	11	11	0	0	0	10	0	0	1
T2a	61	59	0	1	1	59	0	1	1
T2b	10	9	0	1	0	9	0	1	0
T2c	25	24	0	0	1	24	0	0	1
T3a	11	10	1	0	0	11	0	0	0
T3b	5	4	1	0	0	3	2	0	0
T4	2	2	0	0	0	0	2	0	0
Tx	1	0	0	1	0	0	0	1	0
不 明	1	0	0	0	1	0	0	0	1
総 数	127	119	2	3	3	116	4	3	4

6] Gleasonスコア別発見数

Gleasonスコア	発見数 (%)
6	24 (18.9)
7	72 (56.7)
8	14 (11.0)
9	10 (7.9)
10	2 (1.6)
不 明	5 (3.9)
総 数	127

7] 治療法別発見数

治 療 法	発見数 (%)
監 視 療 法	6 (4.7)
内 分 泌 療 法	32 (25.2)
手 術 療 法	60 (47.2)
放 射 線 療 法	23 (18.1)
不 明	6 (4.7)
総 数	127

8] 初回、非初回別実施状況

(1) 実施状況

	受診者数	要精検者数	精検受診者 (%)	発見数 (%)	発見がん内訳		
					早期 (%)	進行 (%)	不明
初 回	2,773	303	221 (72.9)	26 (0.94)	20 (80.0)	5 (20.0)	1
非初回	18,247	1,546	1,178 (76.2)	101 (0.55)	85 (86.7)	13 (13.3)	3
総 数	21,020	1,849	1,399 (75.7)	127 (0.60)	105 (85.4)	18 (14.6)	4

※早期・進行割合は進行度不明4名を除いた割合

※初 回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回も前立腺がん検診を受診していない者

非初回：当該年度を含まない過去3年間のうち、1回以上前立腺がん検診を受診している者

(2) 臨床病期 (ABCD分類)

ABCD分類	初 回		非初回	
	発見数 (%)		発見数 (%)	
早期	B0	0	6	
	B1	11 (80.0)	46 (86.7)	
	B2	9	33	
進行	C	4 (20.0)	9 (13.3)	
	D	1	4	
不 明	1	3		
総 数	26	101		

(3) 非初回101人の前回受診結果と精検受診の状況

	発見がん数	前 回 受 診 結 果	
		異常なし	要精検 (精検未受診)
早 期	85	27	58 (12)
進 行	13	4	9 (2)
不 明	3	1	2 (1)
総 数	101	32	69 (15)

(4) 非初回101人のうち進行がんであった13人の令和元年度と前回受診年度の検診及び精検結果状況

ABCD 分類	令和元年度受診			前回受診結果		
	検診時 P S A値	Gleason スコア	TNM分類	受診 年度	検診時 P S A値	精検結果
C	3.69	7	T3a, N0, M0	R1	3.56	異常なし
C	4.22	6	T3a, N0, M0	R1	9.26	前立腺肥大症
C	4.77	10	T3b, N0, M0	R1	1.66 (異常なし)	—
C	4.78	8	T3a, N0, M0	H29	3.20 (異常なし)	—
C	4.83	7	T3a, N0, M0	R1	3.88	精検未受診
C	6.22	9	T3a, N0, M0	R1	3.93 (異常なし)	—
C	6.36	9	T3a, N0, M0	R1	4.54	経過観察
C	8.83	7	T3a, N0, M0	R1	6.76	その他の疾患
C	10.73	9	T3b, N0, M0	R1	4.42	異常なし
D	4.77	10	T3a, N1, M0	R1	2.56 (異常なし)	—
D	9.43	7	T4, N0, M1	R1	9.13	前立腺肥大症
D	14.53	7	T4, N0, M1	R1	17.66	精検未受診
D	93.71	不明	T3b, N0, M1	R1	54.24	異常なし

(5) 初回のうち進行がんであった5人の精検結果状況

ABCD分類	検診時 P S A値	Gleasonスコア	TNM分類
C	6.65	7	T3a, N0, M0
C	7.09	不明	T3a, N0, M0
C	14.95	7	T3a, N0, M0
C	85.34	9	T3b, N0, M0
D	66.39	8	T3b, N1, M1

4 まとめ

今回の発見前立腺がん追跡調査結果では、127人のがんが確定され、全体のがん発見率は0.60%であった。年齢別にかん発見率をみると、加齢とともに上昇傾向を示していた。

発見がん127人の臨床病期（ABCD分類）は、早期がんである病期B群が多く、B0が6人（4.7%）、B1が57人（44.9%）、B2が42人（33.1%）であり、全体の82.7%を占めていた。また、臨床病期TNM分類のうち原発腫瘍の深達度を分類するT分類では、がんが前立腺内にとどまっているT1c、T2a、T2b、T2cが多く、全体の107人（84.3%）であった。

組織学的悪性度の指標であるGleasonスコアでは、スコア6以下の病理組織学的に低悪性度群が24人（18.9%）、スコア7の中間群が72人（56.7%）、高悪性度群であるスコア8以上は26人（20.5%）であった。

初回受診と非初回受診別にみた実施状況は、要精検者数は初回受診群303人、非初回受診群1,546人で、がん発見率は初回受診群0.94%、非初回受診群0.55%であり、非初回受診群と比較して初回受診群の方が要精検者数、がん発見率ともに有意（ $p < 0.05$ ）に高かった。臨床病期（ABCD分類）による早期がん割合の比較では、初回受診群80.0%、非初回受診群86.7%と、非初回受診群の方が高かったが有意な差は認められなかった。

非初回受診の発見前立腺がん101人のうち、69人は前回検診結果が要精検だった。進行がんであった13人のうち2人が前回精検未受診であったことから、要精検者については、適切な精密検査の受診勧奨が必要であると思われた。さらに、進行がんであった13人のうち、4人の前回の前立腺がん検診結果は、「異常なし」であった。前回は「異常なし」であっても、今回の追跡調査結果は「進行がん」でありGleasonスコア8以上の悪性度が高いがんであったことから、悪性度が高く進展の早いがんがあることを考慮し、定期的な検診受診と要精検になった場合には、速やかに専門の精密検査医療機関を受診することが重要であると考えられた。一方、非初回受診群の進行がん13人の中で転移があった3人のうち2人は、前回の検診においてPSA高値で要精検となり精密検査医療機関を受診していたが、がんの発見には至らなかった。このことからPSA値が高値の場合は精密検査でがんが発見できない場合であっても、検診に戻すのではなく、引き続き精密検査医療機関でのfollow upが必要と思われる。

今回発見された前立腺がんの約8割が早期がんであった。早期に発見された前立腺がんは治療法の選択肢も多く、根治の可能性があることから、定期的に前立腺がん検診を受診し、要精検となった場合には、速やかに専門の精密検査医療機関を受診し、適切な診断・治療を受けることが重要であると考えられた。